

教 育 要 覧

— 令 和 6 年 度 —

竹 原 市 教 育 委 員 会

目 次

I 竹原市の概要	1
II 令和6年度竹原市教育行政の目標	2
III 教育長及び教育委員の構成	3
IV 教育委員会事務局の構成・事務分掌	3
V 教育費科目別当初予算の推移	6
VI 竹原市立小学校・中学校・義務教育学校の現況	7
VII 生涯学習の現況	23
VIII 図書館	28
IX たけはら美術館（閉館）	31
X 令和6年度竹原市教育委員会の主要な事業	32

I 竹原市の概要



市章

City Insignia

竹を題材とし、竹の輪は市民の和を表し、三方に広がる笹は平和で豊かな繁栄を象徴する。

昭和38(1963)年選定

1 地 勢

面積118.23km²(東西21.2km・南北14.7km)竹原市は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、東・北・西を山で囲まれているが、南部は広く瀬戸内海に面している。市の中央を流れる賀茂川の流域と沿岸部に平野が広がっておりその周辺に人口が集中して市街地を形成して居る。また、年間平均気温16.4度、年間降水量969.0mmと温暖な気候にも恵まれ、南部地域では、ぶどう・じゃがいも等の農作物の栽培が盛んで、市の特産物となっている。

(面積 令和6年1月1日現在、気温・降水量 令和5年1月分～令和5年12月分)

2 歴 史

市北部には壮大な古墳群があり、縄文時代の遺跡や古墳時代の横穴式石室が発見されており、今から約3,000年前の昔から人々の生活が営まれていたと推定される。

大化の改新(645年)後、古代山陽道が整備されて都宇駅が置かれ、古くから交通の要所であった。平安時代には京都下鴨神社の荘園となり、竹原荘と呼ばれた(1090年)。鎌倉時代には竹原小早川家が創設され(1258年)、小早川家の隆盛と共に竹原は発展した。

江戸時代に入浜式塩田が開かれ(1650年)、竹原は急速に発展し、瀬戸内海屈指の製塩地として繁栄した。この豊かな経済基盤に支えられ儒学等が栄え、頼家一門を始めとする多くの文人、学者が生まれた。

明治時代に入ると、古くから商港として栄えた忠海に、豊田郡役所(1878年)や税務署(1896年)等が置かれ、豊田郡の中心地として大いに栄えた。昭和10年の呉線全線開通と、同12年の昭和鉱業(現三井金属鉱業)操業により近代的都市へと躍進した。

竹原町は、昭和27年から同31年までに下野村・東野村・大乘村・南方村の小梨地区、そして荘野村・田万里村及び吉名村と賀永村の仁賀地区を編入し、昭和33年に忠海町と合併して市制を施行し、現在に至っている。

3 人口・世帯数の推移 (令和6年4月30日現在)

(1) 人 口 22,945人
男 10,985人
女 11,960人

(2) 世帯数 11,962世帯



Ⅱ 令和6年度竹原市教育行政の目標

竹原市は、本格的な人口減少社会が到来する中、持続可能な都市として発展していくため、本市の強みである「人と人の顔が見えるコミュニティ」を未来への礎として、市民と行政が一体となってまちづくりに取り組み、賑わいや活力を生み出していくため、平成31年3月「第6次竹原市総合計画」を策定した。この計画ではめざすまちの姿を『元気と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市』と定め、市民と行政が目指すべきまちの姿を共有し、それぞれが自身の役割と責任を担いながら、地域課題を一緒に解決することにより、誰もが住みやすさを実感し、誇らしいと思えるまちづくりを目指している。

教育施策を『夢をもち、多様な人々と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材の育成』と定め、安心と自信をもち子育てができるまち、子供の夢を応援するまち、知徳体のバランスのとれた子供の育成ができるまち、そしてすべての人がさまざまな特性や違いを超えてお互いを尊重し、それぞれの能力を発揮できるまちづくりを目指している。市民一人一人が、生きがいのある豊かな市民生活を送ることができるために、教育行政の果たす役割は非常に重要である。

令和6年3月に策定した「竹原市教育大綱」では、これまでの取組を継承するとともに、目指すべき姿を、「夢をもち、多様な人々と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材を育成している」、「多彩な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材が育っている」、「青少年が健全に成長できる環境が充実している」、「歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている」と定め、安心と自信をもち子育てができる環境の充実、次代を担う子どもの育成、生涯にわたり地域で生きいきと活躍できる生涯学習の推進、文化財の更なる活用、魅力づくりの具体化を図る。

教育行政の目標

- 1 「夢をもち、多様な人々と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材の育成」を目指し、「地域とともにある信頼される学校づくりの推進」「幼保小連携教育の推進」「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「充実した教育環境づくり」を基本方針とした、地域とともにある学校づくりの推進、幼保小連携・接続体制の充実、「主体的な学び」を促す教育活動の推進、基礎学力の定着・向上、生徒指導の充実、体力づくりの充実、小中一貫教育の推進、学校の適正配置
- 2 多彩な生涯学習の場の充実及び推進していく人材の育成を目指して、「生涯学習拠点・機会の充実」「学校と地域の協働による生涯学習の推進」「スポーツ、芸術・文化の振興」
- 3 歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされることを目指して、「文化財の保存・継承の推進」「文化財の活用の推進」「歴史資産の普及啓発の推進」
- 4 青少年が健全に成長できることを目指して、「青少年の健全育成に向けた環境づくりの推進」

Ⅲ 教育長及び教育委員の構成

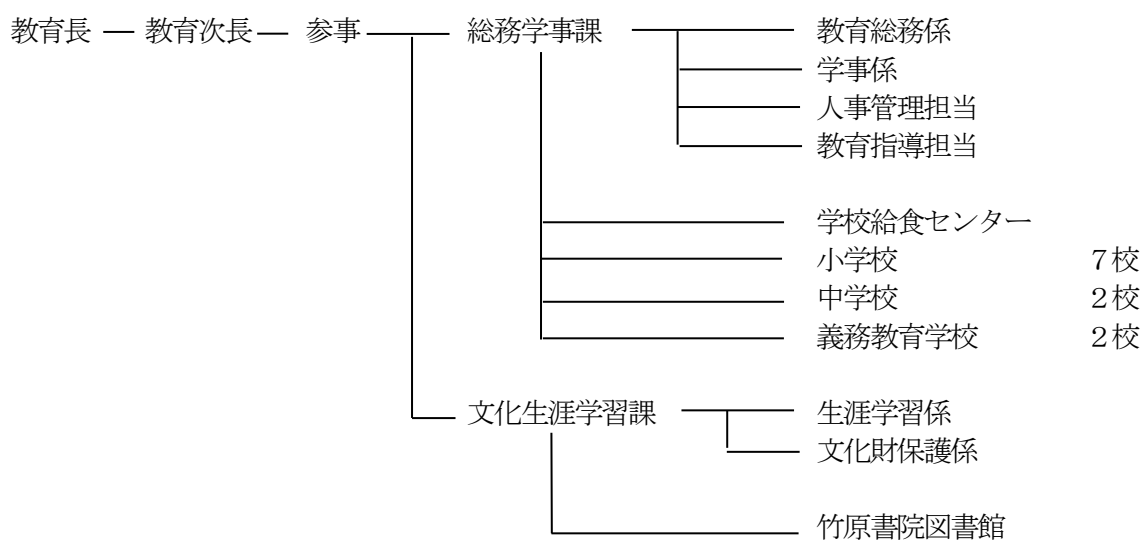
(令和6年6月21日現在)

役 職 名	氏 名	最 初 の 就 任 年 月 日
		任 期 満 了 年 月 日
教育長	高 田 英 弘	平成30年 4月 1日
		令和 7年 6月20日
教育長職務代理者	浅 野 稔	平成25年 2月 1日
		令和 7年 1月31日
委 員	竹 下 純 子	平成31年 2月 1日
		令和 9年 1月31日
委 員	西 川 敏 博	平成31年 2月 1日
		令和 9年 1月31日
委 員	有 田 志 穂	令和 4年 1月31日
		令和 8年 1月30日
委 員	永 福 まどか	令和 6年 6月21日
		令和10年 6月20日

Ⅳ 教育委員会事務局の構成・事務分掌

1 教育委員会の機構

- (1) 所在地 竹原市中央五丁目1番35号
- (2) 事務局・学校その他の教育機関



2 竹原市教育委員会事務局事務分掌

総務学事課

教育総務係

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育行政の企画及び総合調整に関すること。
- (3) 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に係る連絡調整に関すること。
- (4) 教育委員会及び学校その他の教育機関の市費負担職員の任免給与の人事に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 公文書の受付、発送及び整理に関すること。
- (7) 教育委員会に係る歳入歳出予算に関すること。
- (8) 調査統計に関すること。（他課に属さないもの）
- (9) 教育財産の取得及び処分に関すること。
- (10) 教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
- (11) 請願、陳情等に関すること。
- (12) 叙勲申請等に関すること。
- (13) 教育行政相談に関すること。
- (14) 教育委員会各課の連絡調整に関すること。
- (15) 総合教育会議の連絡調整に関すること。
- (16) その他、課の庶務に関すること。
- (17) その他、他の課の所掌に属しない事項に関すること。

学事係

- (1) 通学区域に関すること。
- (2) 児童及び生徒の就学に関すること。
- (3) 教職員並びに児童生徒の保健、安全、厚生、福祉及び環境衛生に関すること。
- (4) 教具その他備品に関すること。
- (5) 就学援助、就学奨励に関すること。
- (6) 学校給食に関すること。
- (7) 学校等施設に関すること。
- (8) 奨学金に関すること。
- (9) その他学校教育に関すること。

人事管理担当

- (1) 校長、教職員等県費負担職員の任免、給与その他人事に関すること。
- (2) 学級編制に関すること。
- (3) 学校経営の指導及び支援等に関すること。

教育指導担当

- (1) 学校教育の調査統計に関すること。
- (2) 学校図書館に関すること。
- (3) 学校関係諸機関との連絡に関すること。
- (4) 教育課程に関すること。
- (5) 教育内容に関すること。
- (6) 学習指導に関すること。
- (7) 生徒指導に関すること。
- (8) 教職員の研修に関すること。
- (9) 教科書の採択に関すること。
- (10) 適応指導教室に関すること。

文化生涯学習課

生涯学習係

- (1) 社会教育委員及び社会教育関係委員に関すること。
- (2) 生涯学習（竹原市地域交流センターにおける生涯学習に関する活動の振興を除く。）の推進に関すること。
- (3) スポーツ推進審議会委員に関すること。
- (4) スポーツ推進委員に関すること。
- (5) スポーツの振興に関すること。
- (6) スポーツ関係施設に関すること。
- (7) 芸術文化に関すること。
- (8) 教育集会所の管理運営に関すること。
- (9) 市立竹原書院図書館に関すること。
- (10) その他生涯学習に関すること。
- (11) 課内庶務に関すること。

文化財保護係

- (1) 文化財及び関係施設に関すること。
- (2) 市史に関すること。
- (3) 歴史的風致維持向上計画（文化・文化財部門）に関すること。
- (4) 町並み保存センターに関すること。
- (5) 歴史民俗資料館に関すること。

V 教育費科目別当初予算の推移

(単位：千円)

科 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教 育 費	758, 187	758, 093	913, 445	931, 741	987, 898
教育総務費	203, 817	185, 278	174, 756	176, 102	226, 147
教育委員会費	2, 993	2, 861	2, 907	2, 977	3, 080
事務局費	133, 481	111, 571	93, 395	94, 599	119, 651
教育指導費	66, 442	69, 961	77, 961	77, 584	71, 711
就学奨励費	901	885	493	942	705
義務教育学校整備費					31, 000
小 学 校 費	180, 655	182, 730	290, 123	183, 333	272, 500
学校管理費	143, 705	158, 316	264, 659	151, 135	213, 393
教育振興費	36, 950	24, 414	25, 464	32, 198	59, 107
中 学 校 費	94, 057	97, 746	142, 072	277, 385	131, 625
学校管理費	78, 099	74, 471	119, 742	250, 504	104, 816
教育振興費	15, 958	23, 275	22, 330	26, 881	26, 809
社会教育費	176, 264	183, 200	198, 821	179, 627	241, 288
社会教育総務費	45, 664	58, 906	55, 846	57, 130	53, 095
図書館費	56, 570	53, 937	53, 885	53, 950	54, 251
青少年指導費	2, 656	廃目	廃目	廃目	廃目
文化財保護費	44, 437	50, 519	67, 165	64, 228	108, 186
美術館費	25, 353	18, 298	20, 018	1, 845	1, 518
文化振興費	1, 584	1, 540	1, 907	2, 474	24, 238
保健体育費	103, 394	109, 139	107, 673	115, 294	116, 338
保健体育総務費	7, 262	7, 469	6, 924	7, 515	7, 554
体育施設費	1, 571	1, 482	1, 474	931	937
学校給食費	94, 561	100, 188	99, 275	106, 848	107, 847

VI 竹原市立小学校・中学校・義務教育学校の現況

令和6年度 竹原市学校教育ビジョン



※ ◎は重点取組に対応した施策

大乗小学校

郵便番号	729-2313		
所 在 地	竹原市高崎町 185 番地 7		
校 長	柏木 雅子		
学 級 数	6	児 童 数	39
電 話	0846-24-1155		
E メール	oonori-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■ 一正しく 強く 仲よくー

■教育目標■

夢に向かって『主体的・協働的』に伸び合う
～気づき、考え、つながり、輝く～

■めざす子ども像■

力を合わせ きらり輝け 大乗っ子

主体的・協働的

自尊感情

■めざす学校像■

笑
しょう

楽
がっ

考
こう

《笑》顔であいさつ

《楽》しく学習・体験つながる
《考》える

■学区の概要■

校区は、市南東部、風光明媚な瀬戸内の波に沿うように広がっている。また、ピースリーホームバンパー総合公園や栽培漁業センターなど自然と関わりが深い施設があり、教育活動に活用している。また「福田の獅子舞」等、文化・伝統豊かな地域でもある。令和3年度よりコミュニティ・スクールとして始動する中、書道・太鼓・絵画・郷土史など造詣が深い地域の人材が学校教育に参画し、児童の学びをより豊かなものに行っている。



■研究主題■

言葉による見方・考え方を働かせ自分の考えを表現できる児童の育成
ー「フレームリーディング」を取り入れた授業づくりを通してー

■特色ある教育活動■

自分の伸びを実感する
確かな学力(知)

自己決定し協働できる
豊かな心(徳)

主体的に取り組む
健やかな体(体)

○フレームリーディングを取り入れることにより、主体的に対する国語科の授業改善を行います。

○各教科の見方・考え方を大事にした授業実践をします。

○確実に学力を定着させるための指導を行います。〈漢字・計算・読解〉

○学級経営を中核とした児童の自尊感情を高める取組を実施します。

○全校遊び・縦割り班活動などを計画的に行う中で、自己肯定感を育む活動を設定し、良い姿を肯定的に評価していきます。

○体育朝会や体育科の準備運動で課題になった項目の力を高める運動を取り入れます。また、体育科の学習指導を工夫し、スポーツの楽しさを感じさせます。

○教員の他、児童会や体育委員会が中心となって外遊びを励行させる取組を計画・実施します。

竹原小学校

郵便番号	725-0023		
所 在 地	竹原市田ノ浦二丁目 5 番 1 号		
校 長	吉田 美和		
学 級 数	9	児 童 数	168
電 話	0846-22-2105		
Eメール	takehara-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

教育目標

自ら学び、つながり、発見する子供の育成

〈めざす子ども像〉

- 夢や目標に向かって仲間と互いに高めあえる子
- 自分の思いや考えを分かりやすく伝えられる子
- 元気で気持ちの良いあいさつをする子
- 感謝と思いやりの心を大切にできる子

■学区の概要■

- 本校の校区は、小京都「たけはら」と呼ばれる竹原市街のほぼ中央に位置し、往時は塩田で栄えた古くからの町である。背後には緑豊かな山々が連なり、前には瀬戸の海が広がる風光明媚な所である。
- 校区には、江戸時代の町並みが残る「町並み保存地区」があり、周辺は主に商店街と住宅街である。
- 令和2年度からコミュニティ・スクールとなり、地域とともにある学校づくりを進めている。



■研究主題■

自ら学ぶ力と読む力を育む授業づくり
～チャレンジ・タスクの取組を通して～

■特色ある教育活動■

【確かな学力】

○主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの推進

○総合的な学習の時間の充実

○家庭学習の充実

【豊かな心】

○自己肯定感を高める取組の充実

○規範意識の向上

○道徳教育の充実

○企業との連携

【健やかな心】

○運動やスポーツ好きな児童を育成する取組の充実

○食育の充実

【信頼される学校】

○地域と一体となった特色ある学校づくり

○持続可能な社会の創造に向けた協働的な学びの推進

○幼保小中を見通した指導の徹底

○働き方改革の実現に向けた環境整備

中通小学校

郵便番号	725-0012		
所 在 地	竹原市下野町 3469 番地		
校 長	元永 圭一		
学 級 数	8	児 童 数	115
電 話	0846-22-2606		
Eメール	nakadoori-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

自ら学び、ともに学び合い、ともに伸びる

■育てたい資質・能力■

- 課題発見・解決能力
- 思考力・表現力
- 協働する力
- 自己肯定感

■学区の概要■

西に朝日山（標高 4 5 4 m）がそびえ、中央に北西から賀茂川が流れ、その河岸に、国道 2 号線より竹原市を結ぶ国道 4 3 2 号線が通り抜けている。また、沿道には大型スーパー、運輸会社、自動車販売会社などが並んでいる。地域の教育力が高く、学校と地域との連携により様々な活動が行われている。令和 3 年度より学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールとなった。



■研究主題■

主体的に学び合い、考え、表現する児童の育成

～対話を軸とした学び合う授業を通して～

■特色ある教育活動■

知：確かな学力	徳：豊かな心	体：健やかな体
思考力・表現力の育成 ○深い思考を促す発問の工夫 ○根拠を明確にした表現【真】 ○積極的な対話【真】 ○学び合いの充実 ○振り返りのある授業 ○課題発見・解決学習の推進 ○ICT機器の効果的な活用 基礎・基本の定着 ○学習規律の徹底 ○パンフタイム ○家庭学習、学習習慣の確立 ○読書の習慣化	自己肯定感の育成 ○「中通小3つの自慢」の徹底 ○挨拶・返事・聞き上手 ○「もくもく排除」の取組 ○キャリア教育の充実【真】 ○自己目標の設定と評価【真】 望ましい人間関係の形成 ○特別活動の充実 ○縦割り班活動の工夫 豊かな感性の育成 ○道徳教育の充実 ○地域との連携、地域貢献	体力の向上 ○中通運動レベルアップセット ○サーキットトレーニング ○体力テストの取組と分析 ○校内持久走大会 ○なわとび大会 ○外遊びの推奨 基本的生活習慣の定着 ○食育指導・保健指導の推進 ○チャレンジカードの活用 「早寝・早起き・朝ごはん」

竹原西小学校

郵便番号	725-0021		
所 在 地	竹原市竹原町 2440 番地		
校 長	藏本 利恵		
学 級 数	10	児 童 数	199
電 話	0846-22-0946		
Eメール	takeharanishi-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

主体的に学び ともに未来を創る

■めざす子ども像■

- 主体的に学ぶ児童
- 他者と協働して課題を解決する児童

■学区の概要■

竹原西小学校は、安芸の小京都と呼ばれる竹原市のほぼ中心に位置し、学校のすぐ東側を賀茂川が流れ周囲を葡萄畑や住宅地に囲まれた落ち着いた環境にある。明治 6 年創立の明親館を前身とする本校は、令和 3 年度から学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールとしての歩みを進めている。

保護者も地域の方も協力的で、PTA活動にも多くの参加があり、活気ある教育活動が行われている。



■研究主題■

主体的・協働的に学ぶ児童の育成

～課題予防的生徒指導の充実を図るプログラムを通して～

■特色ある教育活動■

主体的な学び	豊かな心	健やかな体
○学習の基礎となる能力の育成 ・自己表現活動【真】 ・読書活動の充実（どんどん読書） ・復習と活用（くんぐんタイム） ◎個別最適な学び ・個別タイムとサポートコーナー ・のびのびタイム ◎協働的な学び ・児童同士の多様な関わり合い ・地域や企業と連携した学習 ○ICTの効果的な活用 ○学力調査の分析と授業改善 ○教科担任制の導入 ○家庭学習の充実	◎道徳教育、課題予防的生徒指導の充実（SEL-8S） ◎ウェルビーイングの向上 ・自己肯定感を高める活動 ・キャリアノートを活用【真】 ○いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応 ○不登校の未然防止、不登校等児童の支援 ・SSR（すくすくルーム） ・個別のサポート計画 ○体験活動の充実 ・地域と連携した体験活動 ○特別支援教育 ・多様な教育ニーズへの対応	◎基本的な生活習慣の確立 ・毎月の生活目標と振り返り ・20の約束の実施 ○計画的な体力づくり ・体育朝会（各学年の体づくり運動等） ・ロング居休（縦割り班で遊ぶ活動） ・スポーツ講座 ・外遊びの充実 ○食育、健康教育の推進 ・食事・生活アンケートの取組 ・朝ごはん推進事業 ○幼保小連携教育の推進

東野小学校

郵便番号	725-0004		
所 在 地	竹原市東野町 914 番地		
校 長	大隅 雅浩		
学 級 数	3	児 童 数	17
電 話	0846-29-0114		
Eメール	higashino-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

自ら学び、共に伸びる

■めざす子ども像■

気づき・考え・実行する子

■育てる資質・能力■

自己実現力 表現する力 協働する力

■学区の概要■

本校は、竹原市中心部と国道2号線を結ぶ国道432号線の中間の西側山麓に位置している。昨年度開校150周年を迎えた。

町内の自治会・高齢者団体等は、学校の教育活動にとっても協力的であり、地域全体で子供たちを育てていこうという教育的風土がある。その中で、コミュニティ・スクールとして4年目を迎え、地域に学び・地域と学ぶ社会に開かれた教育課程を展開している。



■研究主題■

主体的に学び合う児童生徒の育成

～小・中9年間を見通した道徳教育の充実を通して～

～道徳科と他教科等との関連を通して～

■特色ある教育活動■

今年のテーマ **Challenge** (笑顔・チャレンジ・ありがとう)

- 小・中9年間を見通した道徳教育の充実
道徳教育推進拠点地域事業中心校としての研究の推進
- 変化に対応し協働する心の育成
東野夢プロジェクト
異年齢集団活動の充実
- 健康を保持増進していく力の育成
ランランタイムの充実、外遊びの充実
- 地域とともにある学校づくりの推進～チーム東野～
コミュニティ・スクールの推進

荘野小学校

郵便番号	725-0002		
所 在 地	竹原市西野町 2025 番地		
校 長	富本 健司		
学 級 数	8	児 童 数	66
電 話	0846-29-0002		
Eメール	shouno-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

夢とおもてなしの心をもった児童の育成

～地域とともに主体性と協働性を育む学校～

○夢や目標をもって挑戦する児童

○他者を理解し、力を合わせて伸びる児童

■学区の概要■

竹原市の北西部、国道2号線と432号線との交差点の西方に位置し、山に囲まれ、賀茂川、葛子川、田万里川が流れ、自然豊かな田園地帯にある。北東に横大道古墳、南に小早川隆景ゆかりの木村城址があるとともに、東西には旧山陽道が走っており、歴史的に古い町である。また昨年度、創立150周年を迎えた。

令和3年度からはコミュニティ・スクールとして、家庭や地域と目指す児童像を共有し、協働して教育を推進している。保護者や地域の方は学校教育への関心が高く、PTA活動及びボランティア活動などを通して、多くの協力や支援をいただいている。



■研究主題■

主体的に学び合う児童生徒の育成

～数学的な見方・考え方を働かせ、学びを深める授業づくり～

■特色ある教育活動■

知

知識・技能の習得

チャレンジタイム、教科担任制 など

主体的な学びの促進

自ら問題に関わりようとする姿勢を育てる
授業づくり など

徳

人間関係形成能力の育成

なかよしタイム、異年齢交流 など

試行錯誤力の育成

協働して課題を解決する特別活動

体

体力の向上

ランニングタイム、なわとび達人 など

健康な生活習慣や態度の確立

生活ががんばり週間 給食達人 など

仁賀小学校

郵便番号	725-0005		
所在地	竹原市仁賀町 1280 番地		
校長	植野 洋一郎		
学級数	3	児童数	11
電話	0846-29-0307		
Eメール	nika-e@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

「自分で学び育つ みんなと共に伸びる」
～笑顔いっぱい 感謝いっぱい みんなの学校～

■学区の概要■

竹原市北西部に位置し、美しい賀茂川の流れに沿って田畑があり、山からは鹿や猪等が学校近くまで降りてくる姿がよく見かけられるなど、豊かな自然に恵まれている。地域・保護者の教育への関心は高く、学校行事や多くの体験学習に協力的である。美しい自然や地域の人たちに支えられ、地域合同行事や異学年集団による体験活動を通して、主体的に学ぶ学習を進めている。

平成 13 年度から、自然環境が豊かな小規模校で地域や学校が希望する学校を特別に指定し、保護者が希望する児童に特別に入学・転学を認める小規模校入学特別認可制度を実施している。



■研究主題■

「主体的に学び合う児童生徒の育成」
～国語科における資質・能力を育む授業づくり～

■特色ある教育活動■

- 【知】 **基礎・基本の徹底**：個々の基礎学力の向上、小中連携による家庭学習の習慣化（小中 9 年間の学びをつなぐ）、ICT の効果的な活用
主体的・対話的で深い学びの創造：複式・少人数の良さと強みを生かした指導方法の工夫
- 【心】 **望ましい人間関係の形成**：一人一人が活躍できる場づくり、異年齢集団活動・児童会活動の充実による児童の自己有用感・自己肯定感の向上、仁賀ふさと学習の深化（和太鼓演奏・米作り・にじます飼育・書道教室・木彫教室・ICT の活用等）
- 【体】 **基本的生活習慣の定着・体力づくり**：運動が好きな児童の育成
個別ファイルの活用、計画的な体力づくり（一輪車・水泳・マラソン・縄跳び等）
「早寝・早起き・朝ごはん」の定着
- 【信】 **コミュニティスクールの充実・発展**：地域と連携協働した教育活動の充実（仁賀小まつり、社会見学、地域合同運動会、一鉢配り、神明ばやし等）
積極的な公開と情報発信

竹原中学校

郵便番号	725-0012		
所在地	竹原市下野町 2230 番地		
校長	吉本 康隆		
学級数	11	生徒数	275
電話	0846-22-2045		
Eメール	takehara-takehara-j@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■ 「求真」

■学校教育目標■

誇りをもち 主体的に生きる生徒 の育成
～ しなやかに たくましく ～

■学校経営方針■

あらゆる教育活動を通して、学校運営協議会とともに生徒の「キャリア発達」を促す学校運営を行う
主体性を基盤とした教育活動の推進

■学区の概要■

南を瀬戸内海に面し、中央を賀茂川が流れる。竹原市は安芸の小京都と呼ばれ、製塩や酒造業で栄えた歴史と文化の薫り高い街である。

学区には大乘、竹原、中通、竹原西の4小学校があり、5つの小中学校で9年間を見据え、「主体的・協働的に学び、自分の考えや思いを表現する児童生徒の育成」を研究テーマとし、小中一貫教育を推進している。



■研究主題■

主体的に考え、表現する生徒の育成

- 「見方・考え方」を意識した授業づくりと
社会を結ぶキャリア教育を取り入れた授業づくり-

■特色ある教育活動■

○知：確かな学力

- ・知識及び技能の定着 ・思考力・判断力・表現力等の育成
- ・主体的な学びの育成
- ・理由や根拠を持って表現する生徒の育成

○徳：豊かな心

- ・自己実現に向け努力し続ける生徒の育成
- ・規範意識の醸成
- ・チーム学校による生徒指導体制の確立

○体：健やかな体

- ・健康の保持増進
- ・体力の向上に努める生徒の育成

○愛：所属愛

- ・キャリア教育の充実 ・所属する集団への愛着や誇り
- ・竹原の公立学校である「竹中」への誇り ・地域への貢献

賀茂川中学校

郵便番号	725-0004		
所在地	竹原市東野町 2051 番地 1		
校長	九十九 邦守		
学級数	4	生徒数	51
電話	0846-29-0200		
Eメール	takehara-kamogawa-j@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■学校教育目標■

世界に向かって 夢をもち

心豊かにたくましく生きる生徒の育成

○学習三則の徹底

<自発・協同・鍛錬>

○生活三則の徹底

<挨拶励行・時間厳守・環境美化>

■学区の概要■

本校の学区は、賀茂川の北部に位置し、市を貫いて流れる賀茂川の源流にある中学校区として知られている。山と川にかこまれた風光明媚な田園地帯にあり、豊かな自然に恵まれ、学校では懐かしい鐘の音が時を告げている。

地域や保護者の教育に寄せる期待と関心は高く、地域の子供の健全な育成にむけて熱心な活動がなされている。こうした地域や家庭の教育力に培われた生徒は素直で明るく、学校でも落ち着いた雰囲気での学習が進められている。



■研究主題■

「主体的に学び合う児童・生徒の育成」

- ～話し合い活動における「問う力」「答える力」を伸ばす
指導方法の工夫を通して～

■特色ある教育活動■

◎連携：9年間を見通した小中連携の推進（合同行事、乗り入れ授業、体験授業）

◎心：道徳教育の充実

◎体：部活動の充実・食育の充実（自作弁当の日）

◎表現：話し合い、考えを交流する授業・NIEの推進

◎体験：福祉体験・職場体験・ボランティア活動（里帰り清掃）

◎生活：賀茂川スタンダード（特別支援教育の視点から）

◎安全：防災教育・集団下校・下校パトロール・地域合同避難訓練

◎自治：生徒会活動の充実

◎コミュニティ・スクールの推進：

育てたい生徒像を共有した、地域とともにある学校づくり

吉名学園

郵便番号	725-0013		
所在地	竹原市吉名町 2671 番地		
校長	北村 洋子		
学級数	13	児童生徒数	106
電話	0846-28-0205・0846-28-0203		
Eメール	yoshina-a@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■教育目標■

「自立した学び」を子供たちに

○ともに咲かそう「3つの笑顔」

- ・分かる喜び、学ぶ楽しさから生まれる笑顔
- ・感謝と思いやりの心から生まれる笑顔
- ・粘り強くやり切った満足から生まれる笑顔

■学区の概要■

本校は竹原市の西部に位置し、温暖な気候と自然に恵まれている。主な産業としてジャガイモの栽培や煉瓦工場で知られている。元内閣総理大臣の池田勇人を輩出した土地柄であり、地域の学校教育への関心は高い。地域全体で吉名町の子どもたちを育てていこうという教育的風土がある。



■研究主題■

主体的に学び 自分の言葉で語る 児童生徒の育成
～「共創」の視点に立った単元開発及び実践を通して～

■特色ある教育活動■

- ◎主体的な学びの風土づくり
 - ・「YOSHINA 未来学」を中心に探究的な学習の在り方の研究を推進する
- ◎コミュニティ・スクールの推進
 - ・学校運営協議会制度を活用し、地域とともにある学校をめざす
- ◎特別支援教育の推進
 - ・一人一人の障害の実態や発達段階に応じたきめ細かな指導の充実を図る
- ◎進路指導の充実
 - ・基礎的・汎用的能力を育成し社会的・職業的自立に向け、体験的活動の充実を図る
- ◎教育環境の充実
 - ・働き方改革を通じた効率的な指導環境の整備や児童生徒と向き合う時間を確保する

忠海学園

郵便番号	729-2317		
所在地	竹原市忠海東町三丁目 9 番 1 号		
校長	伊場田 真彦		
学級数	12	児童生徒数	154
電話	0846-26-0929		
Eメール	tadanoumi-a@takehara.hiroshima-c.ed.jp		

■校訓■ 「広く・やさしく・元気よく」

■教育目標■ 「練 磨」

<協働的な学びを通して、練磨し合い、自己実現を図る児童生徒の育成>

■めざす子ども像■

礼儀礼節を重んじ、何事もねばり強くやり抜く児童生徒

■学区の概要■

忠海は竹原市の東に位置し、往時は商業で栄えた港町である。背後には緑豊かな黒滝山をはじめとする山々が連なり、前には大久野島の浮かぶ瀬戸の海が広がる風光明媚なところである。

海岸線に沿って瀬戸内さざなみ線、国道185号線が走り、近くには宮床海岸がある。



■研究主題■

新時代を切り拓く「21世紀型スキル」の育成
～児童生徒が主体的に情報を活用する
探究的な学習を通して～

■特色ある教育活動■

義務教育学校の特徴を生かし、9年間を見通したカリキュラムを作成するとともに、ICT機器や学校図書館を活用し、世界や地域・家庭とつながりあう学校づくりを進める。

【広い学力】 ◎読解力・活用力の育成 ・PBL学習や読書活動の推進	【やさしい心】 ◎道徳的実践力の育成 ・礼儀礼節のある態度の育成
【元気よい体】 ◎体力の向上 ・食育の推進、健康教育の推進、基本的生活習慣の確立	【信頼される学校】 ◎コミュニティ・スクール及び小中一貫教育の推進 ・情報発信と働き方改革

1 小・中学校及び義務教育学校児童生徒数

(1) 小学校児童数

(令和6年5月1日現在)

校番	学校名	児 童 数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	内81条学級	計
1	大 乗 小	6	7	2	7	5	12	1	39
2	竹 原 小	28	19	27	36	33	25	7	168
3	中 通 小	19	18	18	24	16	20	2	115
4	竹原西小	39	31	38	27	29	35	8	199
5	東 野 小	1	6	1	0	8	1	0	17
6	莊 野 小	11	11	5	8	13	18	4	66
7	仁 賀 小	2	0	2	4	0	3	0	11
小学校計		106	92	93	106	104	114	22	615

(2) 中学校生徒数

(令和6年5月1日現在)

校番	学校名	生 徒 数				
		1年	2年	3年	内81条学級	計
1	竹 原 中	85	88	102	9	275
2	賀茂川中	9	24	18	2	51
中学校計		94	112	120	11	326

(3) 義務教育学校児童生徒数

(令和6年5月1日現在)

校番	学校名	児 童 ・ 生 徒 数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	内81条学級	計
1	吉名学園	10	5	14	13	6	12	19	11	16	9	106
2	忠海学園	16	13	19	15	16	20	12	16	27	10	154
義務教育学校計		26	18	33	28	22	32	31	27	43	19	260

2 小・中学校及び義務教育学校学級数

(1) 小学校学級数

(令和6年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	81条学級	計
1	大 乗 小	1	1	0.5	0.5	1	1	1	6
2	竹 原 小	1	1	1	2	1	1	2	9
3	中 通 小	1	1	1	1	1	1	2	8
4	竹原西小	2	1	2	1	1	1	2	10
5	東 野 小	0.5	0.5	1	0	0.5	0.5	0	3
6	荘 野 小	1	1	1	1	1	1	2	8
7	仁 賀 小	1	0	0.5	0.5	0	1	0	3
小学校計		7.5	5.5	7	6	5.5	6.5	9	47

(2) 中学校学級数

(令和6年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数				
		1年	2年	3年	81条学級	計
1	竹 原 中	2	3	3	3	11
2	賀茂川中	1	1	1	1	4
中学校計		3	4	4	4	15

(3) 義務教育学校学級数

(令和6年5月1日現在)

校 番	学校名	学 級 数										
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	81条学級	計
1	吉名学園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	13
2	忠海学園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	12
義務教育学校計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	7	25

3 小・中学校及び義務教育学校教職員数

(令和6年5月1日現在)

校 番	校 名	計	教 職 員 数													
			県 費 教 職 員 数								市 費 教 職 員 数					
			校 長	教 頭	教指 諭導	教諭	短再 時任用	教養 諭護	教栄 諭養	職事 員務	職事 員務	用 務 員	介 助 員	補校 助 員務	指部 導活 員動	教養 諭護
1	大 乗 小	13	1	1	0	7	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
2	竹 原 小	26	1	1	0	13	1	1	0	1	1	2	4	1	0	0
3	中 通 小	19	1	1	0	9	1	1	0	1	0	1	3	1	0	0
4	竹原西小	25	1	1	0	14	0	1	0	1	0	2	3	2	0	0
5	東 野 小	10	1	1	0	3	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0
6	莊 野 小	19	1	1	0	8	2	1	1	1	0	1	2	1	0	0
7	仁 賀 小	7	1	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
小学校計		119	7	7	0	56	6	6	1	7	1	8	13	6	0	1
1	竹 原 中	32	1	1	1	17	1	1	0	1	1	2	4	1	1	0
2	賀茂川中	20	1	1	0	10	1	1	0	1	0	2	2	0	1	0
中学校計		52	2	2	1	27	2	2	0	2	1	4	6	1	2	0
1	吉名学園	33	1	2	0	20	0	2	0	1	1	3	3	0	0	0
2	忠海学園	33	1	2	1	18	0	2	0	2	0	2	3	2	0	0
義務教育学校計		66	2	4	1	38	0	4	0	3	1	5	6	2	0	0
合 計		237	11	13	2	121	8	12	1	12	3	17	25	9	2	1

※ 市費教職員数は、会計年度任用職員等を含む

4 学校施設の現況

(1) 小学校

(令和6年5月1日現在)

(1) 小学校

(昭和63年3月1日現在)

学校名		大 乗	竹 原	中 通	竹原西	東 野	荘 野	仁 賀	合 計	
児童数		39	168	115	199	17	66	11	615	
校地	面積	20,780	20,292	13,618	19,133	9,345	13,313	5,951	102,432	
	1人当り	532.8	120.8	118.4	96.1	549.7	201.7	541.0	166.6	
校地のうち運動場	面積	12,045	9,600	8,180	10,465	5,212	7,295	2,101	54,898	
	1人当り	308.8	57.1	71.1	52.6	306.6	110.5	191.0	89.3	
建物面積(㎡)	校舎	2,910	5,463	2,404	3,955	2,079	2,265	1,078	20,154	
	屋体	1,100	1,396	997	919	846	808	789	6,855	
保有教室数	普通教室		6	9	8	10	6	8	3	50
	特別教室	理科	1	2	1	1	1	1	1	8
		音楽	1	2	1	1	1	1	1	8
		図工	1	1	1	1	1	1	1	7
		家庭	1	2	1	1	1	1	1	8
		図書	1	1	2	1	1	1	1	8
		コンピューター	0	1	0	1	1	1	1	5
		特別	2	2	1	4	1	0	0	10
		多目的	4	12	1	4	1	1	1	24
	教育相談	0	1	0	1	2	1	0	5	
プール		25M 7コース	25M 7コース	25M 7コース	25M 7コース	25M 5コース	25M 7コース	25M 5コース		
主要建物の 建築年月	校舎	昭和53年 1月	昭和51年 3月	昭和47年 3月	昭和44年 3月	昭和57年 3月	昭和63年 3月	平成 6年 3月		
	屋体	昭和55年 3月	平成26年 3月	昭和55年 3月	昭和62年 3月	昭和60年 3月	昭和63年 6月	平成11年 3月		
	プール	平成12年 3月	昭和49年 7月	昭和53年 7月	昭和54年 8月	昭和52年 8月	昭和58年 2月	昭和39年 9月		

(2) 中学校

学校名		竹 原	賀茂川	合 計	
生徒数		275	51	326	
校地	面積	38,198	20,638	58,836	
	1人当り	138.9	404.7	180.5	
校地のうち運動場	面積	26,001	13,287	39,288	
	1人当り	94.5	260.5	120.5	
建物面積(㎡)	校舎	7,311	3,200	10,511	
	屋体	1,471	941	2,412	
保有教室数	普通教室		11	4	15
	特別教室	理科	3	1	4
		音楽	2	1	3
		美術	2	1	3
		技術	3	2	5
		家庭	3	2	5
		視聴覚	1	1	2
		コンピューター	1	1	2
		図書	2	1	3
		特別	2	3	5
		多目的	10	3	13
		教育相談	5	1	6
プール		25M 7コース	25M 7コース		
主要建物の 建築年月	校舎	昭和48年 9月	昭和54年 8月		
	屋体	昭和49年10月	平成 2年 3月		
	プール	昭和51年 8月	平成 5年 3月		

※小学校「特別教室 特別」とは児童会室、少人数教室、通級学級等を示す。

※中学校「特別教室 特別」とは生徒会室、礼法室、少人数教室等を示す。

(3) 義務教育学校 (令和6年5月1日現在)

学校名			吉名学園	忠海学園	合 計
児童生徒数			106	154	260
校地	面積		41,271	32,254	73,525
	1人当り		389.3	209.4	282.8
校地のうち運動場	面積		16,370	18,560	34,930
	1人当り		154.4	120.5	134.3
建物面積(㎡)	校舎		3,702	4,773	8,475
	屋体		1,012	1,236	2,248
保有教室数	普通教室		13	13	26
	特別教室	理科	1	2	3
		音楽	1	1	2
		美術	1	1	2
		技術	1	2	3
		家庭	1	2	3
		図書	1	1	2
		コンピューター	1	1	2
		特別	6	4	10
		多目的	1	2	3
	教育相談	1	3	4	
プール			25M 7コース	25M 7コース	
主要建物の 建築年月	校舎		昭和58年 1月	昭和50年 3月	
	屋体		昭和59年 3月	昭和52年3月	
	プール		昭和63年 3月	昭和55年10月	

※義務教育学校「特別教室 特別」とは
児童・生徒会室、礼法室、教科教室等を示す。

5 コミュニティ・スクールについて

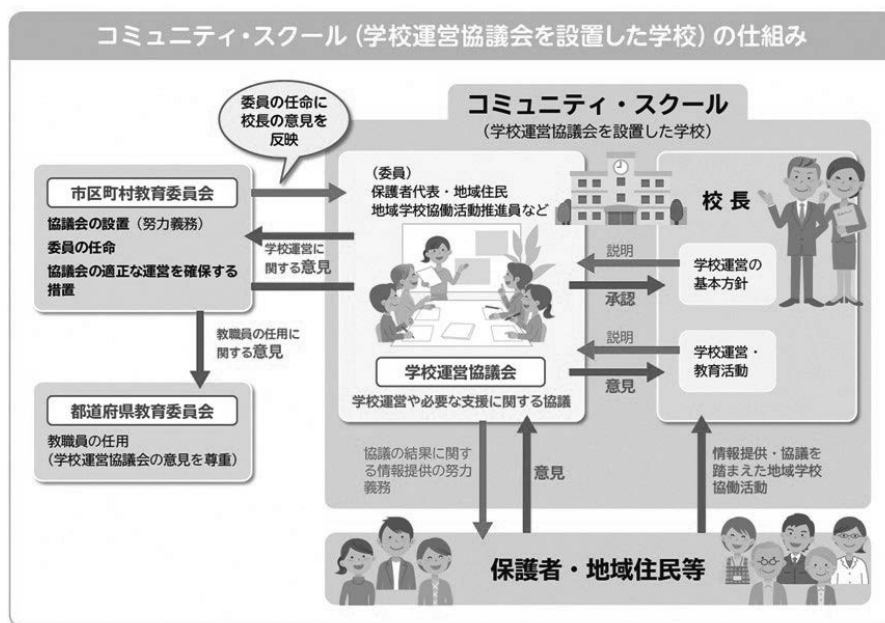
本市では、市内全ての学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校づくりを推進している。

(1) コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置した学校のことで、学校運営に地域の声を活かす仕組みである。

学校運営協議会は、保護者代表、地域住民、有識者などで構成し、学校運営の基本方針や学校に必要な支援などについて協議し、様々な立場からご意見をいただいている。

学校と地域が同じ目標をもち、保護者や地域の方が教育の当事者となることで、子供たちへの教育をより効果的に進めていくことができる。



(これからの学校と地域、文部科学省、2020)

(2) コミュニティ・スクールの一層の推進に向けて
各学校運営協議会へ教育委員会事務局から参加し、助言等を行っている。

また、学校運営協議会委員の当事者意識の涵養とコミュニティ・スクールの深化・発展を図るため、教職員や学校運営協議会委員を対象とした市教委主催の研修会を計画・実施するとともに、先進地視察等も計画している。



コミュニティ・スクール推進に向けた研修
(令和5年度「地域とともにある学校づくり」実践交流会)

(3) コミュニティ・スクールの取組



東野小学校 (学習活動の様子)

東野小学校では、「東野アドベンチャー」という取組があり、今回は、「災害」をテーマに、児童がスタンプラリー形式で地域をめぐり、地域の災害の歴史や今も残る遺跡について学んだ。取組のテーマや内容等について、児童が学級活動で話し合ったことを基に、学校運営協議会での協議を経て、地域交流センターや多くの地域の皆さんとともに、この行事を作り上げている。

6 幼保小連携教育について

本市では、令和4年度より、「竹原市幼保小連携推進協議会」を立ち上げ、構成メンバーを、市内の認定こども園、小学校及び義務教育学校の所属長、さらに幼保小連携教育の担当の先生方とし、竹原市内の義務教育開始前後の子供たちの発達や学びの連続性をしっかりと保障していくことを目指し取り組んでいる。

(1) 幼保小の連携・接続の考え方

園・所等の教育・保育と小学校及び義務教育学校の教育においては、それぞれの段階における役割と責任を果たすとともに、それぞれの教育・保育の違いを踏まえ、小学校及び義務教育学校に入学した全ての子供が、園・所等での遊びや生活を通した育ちと学びを基礎としながら、安心感を持って新しい学校生活に円滑に移行し、自己を発揮し成長していくために、子供の育ちと学びの連続性を保障することが大切である。

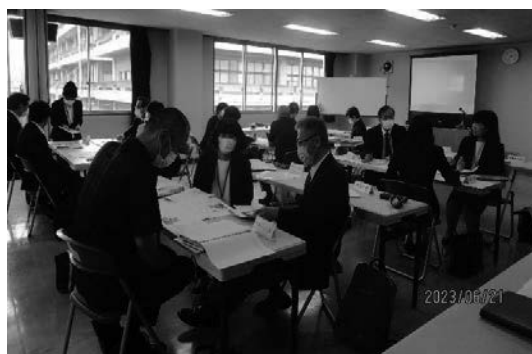


こども園での保育参観の様子

そのため、園・所等での育ちと学びを小学校及び義務教育学校での学びにつなぐ教育活動を実践するために、小学校及び義務教育学校と園・所等が連携し、お互いの教育・保育を理解し、見通して、子供の育ちと学びを連続させていく幼保小連携教育の充実を図っていく。

(2) 竹原市幼保小連携推進協議会の設置

市内の認定こども園、小学校及び義務教育学校の所属長等を対象とした協議会を年に1回実施した。各ブロックでこれまでの取組を交流し合い、カリキュラムを共有した。今後は、各ブロック単位で効果的な研修ができるよう、研修形態の工夫を行う。



幼保小連携推進協議会の様子

(3) 竹原市幼保小連携推進研修会の実施

小学校及び義務教育学校前期課程において、年度当初からスタートカリキュラムを実施している。4月中に、認定こども園等、小学校及び義務教育学校の担当教員を対象とした研修を行い、実際の子供たちの姿を通して協議を深めることができた。今後は、認定こども園の保育参観を通した研修を実施する予定である。



第1学年スタートカリキュラムの様子

6 学校給食

本市では、昭和22年に一部の学校でミルク給食が始められ、その後、昭和27年2月忠海西小学校における学校給食の開始を最初とし、現在では竹原市学校給食センターから小学校7校、中学校2校、義務教育学校2校の全小・中・義務教育学校へ、安心・安全な学校給食の提供を行っている。

給食内容は、基本方針に定めるとおり、食に関する指導の教材となるために、地場産物や旬の食材の使用や、家庭の食器に近く温かみのある磁器食器やはしの導入などの食事環境の改善に努めている。

竹原市学校給食センターで使用する食材選定は、「給食物資の調達に関する要綱」に基づき毎月入札を行い、公平かつ品質のよい食材の購入を図っている。また、市内の生産者等と連携しながら、市の特産物や地元で生産される旬の農作物を年間通して計画的に取り入れている。また、竹原市産の米を使用し、週3.5回を米飯とし、主食・主菜・副菜のそろった日本型の食事スタイルを基本に、できるだけ手作りで、焼く・蒸す・煮る・炒めるなどの変化のある献立づくりを図っている。

さらに、食育を推進していく中で、できるだけ個別対応ができるよう保護者の申請に基づき食物アレルギー等対応給食(除去食)を実施している。

(1) 施設の概要

名 称：竹原市学校給食センター

所 在 地：竹原市竹原町1678番地27

敷地面積：1,868.25㎡(564.02坪)

建築面積：881.30㎡(266.65坪)

延床面積：848.09㎡(256.60坪)

構 造：鉄骨造 平屋建て

調理能力：2,300食/日

仕 様：完全ドライシステム

開 設：平成22年4月1日



(2) 学校給食センター職員体制

(令和6年5月1日現在)

所長	副所長	栄養 教諭	事務 職員	栄養士	調理員
〈1〉	1 〈1〉	〈1〉	1	1	(18)

() は民間委託職員

〈 〉 は兼務の職員

(3) 令和6年度事業計画

給食の提供：年間約200日、1日あたりの平均食数 約1,450食

給食費：小学校270円、中学校310円

学校訪問：給食訪問、給食試食会、教科等での指導、食育月間中の訪問

学校への食育情報発信：給食だより(毎月)、たべものあれこれ(毎月) 他

竹原市学校給食センター運営委員会の開催

7 食育推進について

各学校で食育推進リーダーを中心に、地域の特色を生かした食に関する指導計画を作成し、児童生徒へ各教科における食に関する指導を行っている。

中でも、栽培活動や調理などの体験学習は、児童生徒の食に対する興味関心を高めるとともに、食べ物や生産者への感謝の心が芽生え、学校給食の残菜率の低下などの成果がでている。

児童生徒の食に関する課題から、令和6年度「食べるの大好き竹原っこ」育成計画の具体目標を「朝ごはんの喫食率100%」「食事のマナーを身につけさせる」「食事の準備のできる子を育成する」「よく噛んで食べることの大切さを知らせる」の4点を掲げ、竹原市食育推進行動計画に則しながら継続的な取組を図っている。

「食べるの大好き竹原っこ」育成計画

学校・地域・家庭が共に育てる

児童生徒へ

○生きる力（心身の健康） ○作る喜び
○食べる楽しさ ○感謝の心

【具体目標】

1 朝ごはんの喫食率100%

朝ごはんを毎日食べる。

生活リズムを整え心身の健康を図るため、早寝早起き朝ごはんに気をつける。

2 食事のマナーを身につけさせる

はしの持ち方・食べる姿勢・正しい配膳ができ、食事のマナーを身に付ける。

3 食事の準備のできる子を育成する

小学校卒業までに、炊飯器でごはんを炊き、自分で1食分の食事を作ることができる。また、中学校・義務教育学校卒業までに自分の弁当を作ることができるようにする。

4 よく噛んで食べることの大切さを知らせる

よく噛んで食べたり、味わって食べる。

竹ちゃん給食 (地場産物を活用した料理)

食育の取組

- ・毎月1回…竹ちゃん給食
- ・毎月19日…食育の日
- ・6月…竹原市食育月間
- ・10月…ひろしま食育ウィーク
- ・11月…いい歯の日
- ・1月…学校給食週間

月	料理名	月	料理名
4	竹ちゃんサラダ	11	峠下牛のタコライス
5	たけのこのクリーム煮	12	れんこん料理
6	峠下牛とアヲハタマー マレードの甘辛炒め	1	ねぎ料理
7	まるよしの肉じゃが	2	小松菜料理
9	鶏肉のぶどうジュース ソースかけ	3	かぐや姫寿司
10	マーボーポテト		

Ⅶ 生涯学習の現況

1 生涯学習重点目標

生涯学習を推進するうえで、重要な役割を担う社会教育の充実を図るため、生涯学習の理念に基づき、豊かな生涯学習社会を築くことを目標に、生涯の各時期に「だれでも、いつでも、どこでも」学べる体制づくり、また、国際化、情報化、少子高齢化に対応する適切かつ有効な学習活動ができるよう学習機会の提供及び環境整備に努める。

令和4年度から、「竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン」を策定し、社会教育・生涯学習の取組を効率的に推進していくことを目指す。

(1) 生涯学習の推進

「生涯学習推進体制」の確立と学習支援体制の整備及び市民のニーズに対応する学習機会を充実して、市民の生涯学習を推進する。

(2) 生涯スポーツの振興

幼児から高齢者が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康・体力づくりの推進を図り、健やかで豊かな生活を送るための普及・振興を推進する。

(3) 青少年の健全育成（市長部局補助執行）

自分たちの住む地域に関心をもち、青少年の連帯や主体性を育てるとともに、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。

(4) 芸術・文化の振興

芸術文化活動を行う個人・団体の交流を促進し、活動の充実や人材の育成に努めるとともに、活動の場を増やし、連携による相乗効果につながる活動を支援する。

(5) 文化財の保存活用

市民一人ひとりが文化財に触れる機会を増やすことで、郷土の文化財について理解を深め、関係機関・団体と連携する中で、文化財の保存・継承・活用の充実を図る。

令和6年度 竹原市社会教育・生涯学習推進ビジョン



【基本目標】

多彩な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材（コーディネーター）の育成

【基本方針】

1
「学ぶ場・つながる場」
づくり

○多様な学習ニーズに応じた学習機会の提供
○生涯学習情報の提供

①ライフステージに応じた学習機会の充実
②地域課題に対応した学習機会の充実
③学びを通じた交流・仲間づくりの推進
④市民が学び、交流できる施設環境の整備

2
「学びが循環する地域」
づくり

○学校と地域の協働による生涯学習の推進
○生涯学習を通じた地域人材の育成

①学校と地域が連携した取組の充実
②コミュニティ・スクールと運動した地域の活性化

3
「スポーツ、芸術・文化活動の場」
づくり

○スポーツ、芸術・文化活動の普及
○団体を担う人材の育成
○スポーツ、芸術・文化に親しむ機会の提供
○スポーツ、芸術・文化を生涯楽しめる環境の充実

①団体の継続的活動に向けた支援
②活動を通じた交流・仲間づくりの推進
③活動を支える場及び成果を活かせる機会の充実
④スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実

4
「学校・家庭・地域がつながる環境」
づくり

○子育てに関する学習機会の提供による
家庭教育力の向上
○家庭・学校・地域などの連携による
地域全体の教育力の向上

①地域の多様な主体との連携による学習機会の提供
②青少年の健全育成に向けた取り組みの充実
③学びを通して誰もが共に生きる環境の充実
④団体の継続的活動に向けた支援

庁内関係部署との連携

2 生涯学習施設

(1) 教育施設

施設名	所在地	構造	延床面積	施設内容	開始年月
竹原市民館	中央五丁目 5番24号	RC造 地上3階 地下1階	3,714.33 m ²	ホール、料理教室、会議室(5)、和室(3) 竹原地域交流センター併設	昭和43年10月
竹原市 歴史民俗資料館	本町三丁目 11番16号	木造 2階	242.03 m ²	展示室(3)、交流ホール	昭和55年6月
竹原市町並み 保存センター	本町三丁目 11番7号	RC造 2階	615.13 m ²	展示室、収蔵室、集会室、 研究室	昭和57年7月
旧松阪家住宅	本町三丁目 9番22号	木造 2階	449.25 m ²	玄関、土間、座敷、蔵、 便所、台所	昭和59年6月
旧光本家住宅	本町三丁目 7番4号	木造 平屋	156.02 m ²	和室、展示室(今井政之 陶芸の館)	平成12年10月
旧森川家住宅	中央三丁目 16番33号	木造 2階	841.99 m ²	主屋、離れ座敷、茶室、 隠居部屋、土蔵、表門、 脇門、塀	平成16年4月

(2) 体育施設

施設名	面積	施設の概要	所在地
市営テニスコート	1,502.89 m ²	テニスコート2面	竹原町 3471 番地
大井スポーツ広場	2,260.00 m ²	多目的グラウンド	下野町 926 番地 5
忠海スポーツ広場	1,120.00 m ²	多目的グラウンド	忠海東町二丁目 5040 番地
宿根スポーツ広場	588.00 m ²	多目的グラウンド	下野町 345 番地
小梨スポーツ広場	2,706.00 m ²	多目的グラウンド	小梨町 10385 番地 3
田万里スポーツ広場	3,246 m ²	多目的グラウンド	田万里町 1241 番地
田万里プール(休止)	225.00 m ²	25m×4コース	田万里町 1229 番地 1
バンブー竹原市体育館	3,500.00 m ²	バレーボール2面、バドミントン8面、トレーニングルーム、会議室	高崎町 1414 番地
バンブー多目的グラウンド	18,000.00 m ²	400mトラック(8コース)、サッカー1面、ソフトボール2面	高崎町 1414 番地
バンブーテニスコート	11,000.00 m ²	テニスコート8面	高崎町 1414 番地

(3) 地域交流センター

地域交流センター名	所在地	構造 (建築年月)	延床面積 (㎡)	施設内容	開館年月日
忠海東	忠海東町五丁目 1 番 13 号	RC造2階 (平成 3 年 1 月)	432.50	和室、会議室(2)、 図書室、調理室、 集会室	平成 3 年 1 月 4 日
忠 海	忠海中町二丁目 26 番 1 号	RC造2階 (平成 6 年 6 月)	902.37	和室(2)、公会堂、 図書室、調理室、 生涯学習室	昭和 29 年 7 月 8 日
	忠海中町二丁目 25 番 1 号	RC造2階 (忠海支所に併設) (昭和 58 年 3 月)	550.29	大ホール	令和 4 年 4 月 1 日
大 乗	高崎町 185 番地 7	RC造2階 (昭和 57 年 4 月)	612.00	和室(2)、会議室(2)、 資料室、大ホール、 図書室、調理室	昭和 57 年 4 月 1 日
竹 原	中央五丁目 5 番 24 号	RC造3階 (竹原市民館に併設) (昭和 43 年 6 月)	3,714.33	和室(3)、会議室(5)、 ホール、料理教室	昭和 52 年 4 月 19 日
小 梨	小梨町 10381 番地 1	S造平屋 (昭和 56 年 3 月)	299.97	和室(2)、閲覧室、 集会室、調理室	昭和 28 年 10 月 1 日
竹原西	竹原町 2377 番地 1	RC造2階 (昭和 58 年 4 月)	620.00	和室(3)、会議室(2)、 大ホール、調理室	昭和 58 年 4 月 23 日
中 通	下野町 3478 番地	RC造2階 (昭和 63 年 3 月)	604.47	和室(2)、会議室(3)、 図書室、調理室	昭和 63 年 3 月 29 日
東 野	東野町 887 番地	RC造2階 (平成 1 年 3 月)	609.77	和室(4)、会議室(2)、 図書室、調理室	昭和 28 年 10 月 11 日
荘 野	西野町 2054 番地 1	RC造2階 (平成 3 年 5 月)	606.75	和室(2)、図書室、 大会議室(2)、 小会議室(2)、 調理室	昭和 27 年 3 月 2 日
田万里	田万里町 1229 番地 1	RC造2階 (平成 5 年 4 月)	1,554.25	和室(2)、会議室、 図書室、調理室、 屋内運動場	昭和 29 年 12 月 12 日
仁 賀	仁賀町 1292 番地 1	木造平屋 (昭和 57 年 4 月)	180.94	和室(2)、研修室、 調理室	昭和 31 年 9 月 18 日
大 井	下野町 1525 番地	RC造2階 (平成 4 年 3 月)	608.24	和室(4)、大会議室、 図書室、調理室	昭和 38 年 5 月 25 日
吉 名	吉名町 4956 番地 22	RC造2階 (昭和 60 年 4 月)	660.00	和室(2)、会議室(3)、 ホール、調理室	昭和 34 年 6 月 10 日

竹原市文化財一覧表

種別		名称	所在	指定年月日
国	重要文化財	銅鐘（高麗鐘）	本町三丁目 13-1	明治 43 年(1910)4 月 20 日
		春風館頼家住宅	本町三丁目 7-24	昭和 63 年(1988)12 月 19 日
		復古館頼家住宅	本町三丁目 7-26	昭和 63 年(1988)12 月 19 日
	天然記念物	スナメリクジラ廻游海面	高崎町阿波島南端	昭和 5 年(1930)11 月 19 日
		忠海八幡神社社叢	忠海中町三丁目 7-15	昭和 11 年(1936)9 月 3 日
	重要伝統的建造物群保存地区	竹原市竹原地区 伝統的建造物群保存地区	本町一丁目、三丁目、 四丁目の一部	昭和 57 年(1982)12 月 16 日 選定
県	登録有形文化財	旧日の丸写真館	本町一丁目 3-6	平成 26 年(2014)12 月 19 日
	重要文化財	木造十一面観音立像	本町三丁目 10-44	昭和 37 年(1962)3 月 29 日
		木造聖観音菩薩坐像	吉名町観音谷	昭和 53 年(1978)1 月 31 日
	史跡	磯宮	田ノ浦一丁目 6-8	昭和 12 年(1937)5 月 28 日
		唐崎常陸介之墓	本町一丁目 16-22	昭和 17 年(1942)6 月 9 日
		頼惟清旧宅	本町三丁目 12-21	昭和 32 年(1957)9 月 30 日
		木村城跡	新庄町末宗	昭和 48 年(1973)3 月 28 日
	天然記念物	忠海のウバメガシ樹叢	忠海床浦一丁目 12-27	昭和 12 年(1937)5 月 28 日
		楠神社のクスノキ	忠海長浜三丁目 8-1	平成 4 年(1992)10 月 29 日
	無形民俗文化財	福田のししまい	福田町中谷稲生神社	昭和 56 年(1981)4 月 17 日
		忠海の祇園祭みこし行事	忠海中町三丁目 7-15	昭和 59 年(1984)11 月 19 日
市	重要文化財	光海神社棟札	吉名町宮条 2046	昭和 46 年(1971)12 月 27 日
		吉名八幡宮法楽連歌	吉名町宮条 2046	昭和 46 年(1971)12 月 27 日
		駕籠	忠海床浦二丁目 10-1	昭和 46 年(1971)12 月 27 日
		弾薬輸送庫	忠海床浦二丁目 10-1	昭和 46 年(1971)12 月 27 日
		旧松阪家住宅	本町三丁目 9-22	昭和 60 年(1985)4 月 10 日
		西方寺普明閣・お籠堂	本町三丁目 10-44	昭和 62 年(1987)12 月 26 日
		紙本著色竹原絵屏風	本町三丁目 7-24	平成 2 年(1990)2 月 14 日
		旧森川家住宅	中央三丁目 16-33	平成 16 年(2004)7 月 21 日
		旧吉井家住宅	本町三丁目 8-19	平成 30 年(2018)12 月 21 日
		木造裸形着裝阿弥陀如来立像	東野町 885 番地	令和 3 年 (2021) 8 月 26 日
	史跡	福田社倉	福田町中谷 1571	昭和 38 年(1963)9 月 13 日
		郷賢祠	田ノ浦二丁目	昭和 38 年(1963)9 月 13 日
		横大道古墳群	新庄町鷺ノ森 331	昭和 38 年(1963)9 月 13 日
		田万里鏡田古墳群	田万里町鏡田	昭和 38 年(1963)9 月 13 日
		能島村上氏の遺跡	竹原町 124 外	平成 4 年(1992)12 月 24 日
		東永谷製鉄遺跡	下野町 966-1, 974-1 の一部	平成 20 年(2008)10 月 22 日
	無形民俗文化財	田万里八幡神社 当屋祭オハケ神事	田万里町 1222	平成 25 年(2013)10 月 24 日
	天然記念物	宿根の大桜	下野町字宿郷 359	平成 26 年(2014)4 月 24 日
		竹原町の長寿ブドウ (キャンベル・アーリー種)	竹原町字皆実新開 1786 番 2	令和 3 年 (2021) 8 月 26 日

VIII 図書館

1 館 名 市立竹原書院図書館

2 所在地 竹原市下野町3308番地（〒725-0012）

TEL 0846-22-0778

FAX 0846-22-1072

ホームページ <https://takeharashoin.jp/>

メールアドレス library@takeharashoin.jp

3 開館時間・休館日

開館時間 午前10時～午後6時

休 館 日 毎週月曜日（祝日の時は開館、直後の祝日ではない日に振替）

館内整理日、特別整理期間

年末年始（12月29日～1月4日）

4 施設・設備 フジ竹原店テナント敷地内（平成30年4月1日から仮移転）

建物面積 502.2㎡

児童コーナー 55.03㎡ 一般図書コーナー 286.07㎡

事務室・作業室 161.1㎡

5 館の概要

(1) 名称の由来

寛政5年（1793年）に郷土の先賢によって、子弟のために設けられた郷塾からはじまり、その後、明治43年（1910年）有志の手によって、社団法人「竹原書院」の名称で図書館活動が受け継がれた。昭和4年（1929年）に町立図書館「竹原書院」となり、昭和33年（1958年）の市制施行により、「竹原市立書院図書館」に、そして、その後現在の「市立竹原書院図書館」となった。

(2) 所蔵の特色

「竹原書院」時代から、受け継がれた江戸時代の製塩業関係古文書、竹原の歴史・風俗が書かれた和本・古地図や頼山陽に関する刊行された資料を多数収集・所蔵している。

(3) 移動図書館車

利用者の利便性向上のため、昭和57年10月から、移動図書館車「わかたけ号」を市内ステーションに定期的に巡回している。令和6年4月から移動図書館車を更新（小型化）し、わかたけ4号として運行している。

(4) 電子図書館

令和2年11月から、市内在住の図書館利用登録者が利用できる電子図書サービスを行っている。

6 分類別蔵書数

(令和6年3月31日現在)

区 分 分 類		蔵 書 数	年 間 増 加 冊 数		
			受 入	廃 棄 等	小 計
0.	総 記	12,820	104	58	46
1.	哲 学	6,841	92	16	76
2.	歴 史	16,941	129	48	81
3.	社 会 科 学	22,107	366	45	321
4.	自 然 科 学	12,343	223	50	173
5.	工 学	12,582	158	8	150
6.	産 業	5,730	76	6	70
7.	芸 術	13,559	163	16	147
8.	語 学	2,780	49	12	37
9.	文 学	91,129	1,369	945	424
計		196,832	2,729	1,204	1,523
内	児 童 書	50,289	859	912	-53
	郷 土	18,570	76	0	76
その他（漫画図書）		2,003	2	0	2
蔵 書 冊 数		198,835 冊			

令和5年度受入内訳

購 入	2, 5 7 7 冊
寄 贈	1 2 8 冊
そ の 他	2 4 冊
遡及入力	0 冊
計	2, 7 2 9 冊

7 郷土資料

区 分	内 容	冊 数 ・ 点 数
図 書	竹原市内に関するもの	9,316
	広島県内に関するもの	9,254
近 世 文 書	市史編さん史料として、合併町村から集めたもの、及び竹原塩田関係史料	約 20,000
古地図・拓本類	江戸時代の古地図（軸物）と、郷土に関した拓本類	32

8 利用状況

(1) 開館日数（令和5年度）

・本館	291日
・移動図書館車	96日

(2) 図書館の利用

		本館	移動図書館車	合計
個人貸出	登録者数	16,040	—	16,040
	貸出者数	※1 32,028	5,513	37,547
	貸出冊数	118,598	15,638	134,236
団体貸出	団体登録者数	137	—	137
	貸出冊数	6,765	37,750	44,515
停本所	停本所数	10	—	10
	貸出冊数	9,007	—	9,007
貸出冊数合計		142,486	55,440	197,926

※1 個人貸出の貸出者数については、令和5年度よりWEB貸出者数を含めている。

IX たけはら美術館（閉館）

たけはら美術館は、広島県、竹原市並びに竹原商工会議所が合同で建設した「たけはら合同ビル」の一角に、本市の芸術・文化振興の拠点として、美術品の鑑賞の機会を提供し、広く文化活動のために利用していただくため、平成４年１月１日に開館した。

この「たけはら合同ビル」を、市の庁舎として整備することに伴い、令和５年３月３１日に閉館した。

現在、竹原市美術品展示機能の再構築に向けて検討を行っている。

竹原市美術品収蔵品について

本市出身の元内閣総理大臣池田勇人氏が生前愛蔵し、昭和４１年に故人の遺志を受けてご遺族から寄贈された美術品（池田コレクション）を所蔵している。

池田コレクションは、竹原にゆかりのある江戸後期の儒学者頼山陽（書）の他、狩野芳崖、横山大観、川合玉堂（日本画）、藤田嗣治（素描）、安井曾太郎（油彩画）、棟方志功（水彩画）等、約１５０点を所蔵している。

令和５年１２月に竹原市へ、故今井政之氏のご遺族から作品７５７点を寄附受納した。

収蔵品数

（令和６年４月現在）

区 分	池田コレクション	その他の収蔵品	合 計
日 本 画	46	17	63
油 彩 画	6	40	46
水 彩 画	1	0	1
パステル	1	0	1
素 描	1	17	18
書	22	57	79
彫 塑	6	13	19
工 芸	18	781	799
版 画	0	12	12
そ の 他	47	76	121
合 計	148	254	402

X 令和6年度竹原市教育委員会の主要な事業

1 竹原市教育大綱【令和6年度～令和10年度】

第6次竹原市総合計画～後期基本計画～を構成する4つの将来像のうち、「“文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち」「自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち」を目指すため、竹原市教育大綱では、『グローバル社会を生き抜く人づくり』を基本理念として設定しました。

この基本理念を実現するため、総合計画の施策の方向性を活かしつつ、「学校教育」、「生涯学習・青少年育成」、「歴史・文化財」の3項目を柱とし、10年後の目指す姿を掲げ、取組の方向性を示しています。

将来像

- 【人材】「“文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち」
- 【個性】「自然・歴史・文化に生まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち」

目標像

- 【人材】子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている
- 【人材】市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している
- 【個性】竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれている

教育大綱：3つの柱【10年後の目指す姿⇒取組の方向性

- 【人材】学校教育
夢をもち、多様な人々と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材を育成している
- 【人材】生涯学習・青少年育成
・多彩な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材が育っている
・青少年が健全に成長できる環境が充実している
- 【個性】歴史・文化財
歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている

基本理念：「グローバル社会を生き抜く人づくり」

2 令和6年度竹原市教育委員会の主要な事業

竹原市教育大綱に基づき、重点的に取り組む施策を推進するための事務事業は次のとおりです。

① 学校教育

夢をもち、多様な人々と協働し、社会を主体的に生き抜くことができる人材を育成している

重点的施策	事業内容	担当課
地域とともにある信頼される学校づくりの推進	地域とともにある学校づくりの推進	総務学事課
	学校の自主性・自律性の確立	総務学事課
	人材育成の推進	総務学事課
幼保小連携教育の推進	連携・接続体制の充実	総務学事課
	接続カリキュラムの充実	総務学事課
「確かな学力」の向上	「主体的な学び」を促す教育活動の推進	総務学事課
	基礎学力の定着・向上	総務学事課
	I C T活用教育の推進	総務学事課
	特別支援教育の推進	総務学事課
	ことばの教育の推進	総務学事課
「豊かな心」の育成	生徒指導の充実	総務学事課
	道徳教育の充実	総務学事課
	体験活動の充実	総務学事課
	伝統・文化等に関する教育の推進	総務学事課
	キャリア教育の充実	総務学事課
「健やかな体」の育成	体力づくりの充実	総務学事課
	健康教育の充実	総務学事課
	食育の充実	総務学事課
充実した教育環境づくり	小中一貫教育の推進	総務学事課
	学校の適正配置	総務学事課

② 生涯学習・青少年育成

- ・多様な生涯学習の場が充実し、それらを担い、推進していく人材が育っている
- ・青少年が健全に成長できる環境が充実している

重点的施策	事業内容	担当課
生涯学習拠点・機会の充実	拠点施設の周知広報と学校や文化活動団体等との連携による利用促進	文化生涯学習課
	地域課題やライフステージに応じた講座等の提供	文化生涯学習課
学校と地域の協働による生涯学習の推進	学校と地域の連携強化による生涯学習環境の充実	文化生涯学習課
	生涯学習を通じた地域活動の担い手の育成	文化生涯学習課
スポーツ、芸術・文化の振興	普及、指導団体を担う人材の育成	文化生涯学習課
	各種スポーツ・文化芸術イベントの開催	文化生涯学習課
家庭・学校・地域等の連携による教育力向上の推進	子育てに関する学習機会の提供による家庭教育力の向上	健康こども未来課
	家庭、学校、地域等の連携による地域全体の教育力の向上	健康こども未来課

③ 歴史・文化財

歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている

重点的施策	事業内容	担当課
文化財の保存・継承の推進	文化財及び歴史資料の調査・記録	文化生涯学習課
	文化財の指定・登録による保存・継承	文化生涯学習課
	町並み保存地区における伝統的建造物の保存修理と修景による歴史的景観の保全	文化生涯学習課
文化財の活用の推進	文化財の公開活用の促進	文化生涯学習課
	文化財の適正な維持管理	文化生涯学習課
	歴史的建造物の活用に向けた取組	文化生涯学習課
歴史資産の普及啓発の推進	歴史・文化財に関する講座等の開催による普及啓発	文化生涯学習課
	文化財に関する情報発信	文化生涯学習課